

# iDeCo

個人型確定拠出年金

## 豊かなセカンドライフに備え

# で賢く老後の資産形成



身近な笑いを交えてトーク  
(左:市川、右:和田ちゃん)

年齢でどれだけの受け取れる年金が得られるのか、不安な方が多い。その不安を和らげるために、iDeCoを活用することが効果的だ。特に、公的年金が減少している中、iDeCoは老後の資産形成に有効な手段として注目されている。

市川 公的年金は年々減少している。現在は月々20万円程度だが、2030年には15万円程度になると推定されている。iDeCoで毎月1万円を積み立てることで、20年後には200万円程度が蓄積できる。これを月々5万円程度受け取ることで、生活に充てることができる。

和田ちゃん 公的年金だけでは不足する部分があります。iDeCoを上手に活用することで、老後の生活を豊かにすることができます。

### トークショー「女と男 お笑い資産形成術！」

80歳まで生きるとして、20年後で200万円、公的年金だけで生活するのは大変だ。iDeCoは、毎月1万円から積み立てることができる。20年後には200万円程度が蓄積でき、月々5万円程度を受け取ることで、生活に充てることができる。

山上一夫 iDeCoは老後の資産形成に有効な手段だ。毎月1万円を積み立てることで、20年後には200万円程度が蓄積できる。

和田ちゃん 公的年金だけでは不足する部分があります。iDeCoを上手に活用することで、老後の生活を豊かにすることができます。

「お笑い資産形成術」のトークショーは、笑いながら老後の資産形成の重要性を学べる貴重な機会だ。参加者は、iDeCoの仕組みや活用方法について詳しく説明された。

山上一夫 iDeCoは老後の資産形成に有効な手段だ。毎月1万円を積み立てることで、20年後には200万円程度が蓄積できる。

和田ちゃん 公的年金だけでは不足する部分があります。iDeCoを上手に活用することで、老後の生活を豊かにすることができます。

基本的に20歳から60歳までの全ての人が加入できるようになった個人型確定拠出年金「iDeCo（イデオ）」の仕組みやメリットを知ってもらい、老後の資産形成に役立ててもらおうと「iDeCoシンポジウム2017 in 大阪」が9月24日、大阪市北区のナレッジシアターで開かれた。制度の解説や金融機関、商品選びのアドバイスのほか、吉本芸人によるトークショーなども行われ、参加した約300人が熱心に耳を傾けた。

### 開会スピーチ

大鶴知之 確定拠出年金普及推進協議会・推進協議会 iDeCo 広報実行委員会 推進協議会代表委員

確定拠出年金普及推進協議会 iDeCo 広報実行委員会、投資信託協会、日本証券業協会、金融庁が主催する「iDeCoシンポジウム2017 in 大阪」の開会式が9月24日、大阪市北区のナレッジシアターで開かれた。



### 制度改革で加入者が倍増

iDeCoの普及と推進活動を行っている。今年1月に制度改革が行われて以来、iDeCoは目下平均で4万人を超過する新規加入者があり、7月末には55万4,000人と改正前の2倍近い倍増を記録している。この制度がいかにかに多くの人に求められていることがうかがえる。iDeCoは1人1人自分のために備えるべき制度だ。老後の生活に備えるためには、公的年金だけでは不足する部分がある。iDeCoを上手に活用することで、老後の生活を豊かにすることができます。

### あこまこ

江口満 厚生労働省年金局長 年金・個人年金普及推進部長

iDeCoは個人型確定拠出年金の愛称です。昨9月に40歳を超え公務員の中から選ばれました。それが約1年、愛称はなじんできた感じがしますが、中身についてはまだ知らない人が多いという状況です。そこで、まずはiDeCoをよく知ってもらうことが大切です。iDeCoを知ってもらえば、資産形成の大切さもわかってもらえる。自分の希望する老後の生活に合ったiDeCoを選ぶことができる。iDeCoは、その分だけ老後の生活に役立つ。今回のシンポジウムは、iDeCoの活用方法や商品選びについて詳しく説明された。



### 参加者

- ◎ハネリス
- 大江加代 NPO法人 確定拠出年金教育協会 理事長兼主任研究員
- 江口満 厚生労働省年金局長 年金・個人年金普及推進部長
- 山上一夫 産経新聞社論議委員
- 山田直子 産経新聞社論議委員



iDeCoについて分かりやすく解説するパネリストたち

### 掛け金、金融機関、商品を決めて

掛け金の額は、1万円から積み立てることができます。金融機関も、口座開設が簡単なところを選びましょう。商品も、自分の希望する老後の生活に合ったものを選びましょう。iDeCoは、毎月1万円を積み立てることで、20年後には200万円程度が蓄積できる。これを月々5万円程度受け取ることで、生活に充てることができる。

市川 iDeCoは老後の資産形成に有効な手段だ。毎月1万円を積み立てることで、20年後には200万円程度が蓄積できる。

和田ちゃん 公的年金だけでは不足する部分があります。iDeCoを上手に活用することで、老後の生活を豊かにすることができます。

市川 公的年金は年々減少している。現在は月々20万円程度だが、2030年には15万円程度になると推定されている。iDeCoで毎月1万円を積み立てることで、20年後には200万円程度が蓄積できる。

和田ちゃん 公的年金だけでは不足する部分があります。iDeCoを上手に活用することで、老後の生活を豊かにすることができます。

掛金については、1万円から積み立てることができる。金融機関も、口座開設が簡単なところを選びましょう。商品も、自分の希望する老後の生活に合ったものを選びましょう。iDeCoは、毎月1万円を積み立てることで、20年後には200万円程度が蓄積できる。これを月々5万円程度受け取ることで、生活に充てることができる。

市川 iDeCoは老後の資産形成に有効な手段だ。毎月1万円を積み立てることで、20年後には200万円程度が蓄積できる。

和田ちゃん 公的年金だけでは不足する部分があります。iDeCoを上手に活用することで、老後の生活を豊かにすることができます。

市川 公的年金は年々減少している。現在は月々20万円程度だが、2030年には15万円程度になると推定されている。iDeCoで毎月1万円を積み立てることで、20年後には200万円程度が蓄積できる。

和田ちゃん 公的年金だけでは不足する部分があります。iDeCoを上手に活用することで、老後の生活を豊かにすることができます。

主催/確定拠出年金普及推進協議会 iDeCo 広報実行委員会、産経新聞社  
後援/厚生労働省、金融庁、金融広報中央委員会、国民年金基金連合会、全国地方新聞社連合会

企画・制作/産経新聞社営業局

自分で育てる、自分の年金

# iDeCo

個人型確定拠出年金「iDeCo」は、税制上のメリットも多く、自分で入り、自分で増やす、私的年金の一つです。今年の1月から、基本的に20歳以上60歳未満のすべての方が加入できるようになりました。豊かなセカンドライフを過ごすためには、公的年金である国民年金や厚生年金と組み合わせ、現役時代からしっかり準備を進めることが大切です。

「iDeCo」の制度内容について詳しくはこちら  
<http://www.ideco-guide.jp/>

[iDeCoガイド](#)

### [iDeCoの3つの税制優遇]

掛金が全額所得控除!

毎月の掛金が仮に1万円の場合、その全額が税額軽減の対象となり、所得税(10%)、住民税(10%)とすると年間24,000円、税金が軽減されます。

運用益も非課税で再投資!

通常、金融商品を運用すると、運用益に課税されますが、「源泉分離課税20.315%」の「iDeCo」なら非課税で再投資されます。

受取る時も大きな控除!

「iDeCo」は年金一時金で、受取り方法を選択することができます(金融機関によっては、年金と一時金を併用することもできます)。年金として受取る場合は「公的年金所得控除」、一時金の場合は「退職所得控除」の対象となります。

老後のために、いま、できる、こと。イデオ

### 私たちは「iDeCo」広報を積極的に推進します。

特別協賛

日本証券業協会  
Japan Securities Dealers Association

投資信託協会

協賛

東京海上日動

日本生命保険相互会社

三井住友銀行

野村證券

MIZUHO みずほ銀行

大和証券

三井住友信託銀行

三菱東京UFJ銀行

三菱UFJ信託銀行

明治田安生命

リソな銀行

協賛

日本生命保険相互会社

野村證券

MIZUHO みずほ銀行

大和証券

三井住友信託銀行

三菱東京UFJ銀行

三菱UFJ信託銀行

明治田安生命

リソな銀行

産経新聞 2017年10月28日(土) 掲載